

沼間小学校区地域連合会(住民自治協議会) 第5回代表者会議 議事録

1. 会議概要

- (1)日時: 2018年9月22日(土曜) 15時00分～16時40分
- (2)場所: 沼間コミュニティセンター学習室
- (3)出席会員: 21団体 / 所属会員 33団体 = 64% [会議成立]
- (4)その他出席団体
協力団体(沼間小学校、沼間中学校、社会福祉協議会、エコ広場ずし、東部地域包括支援センター)
逗子市 (まちづくり景観課、沼間小学校区地域担当職員他)
逗子市会議員(田幡氏、松本氏)

2. まとめ、決定事項

- (1)地域づくり計画及び東逗子駅前再開発について
・地域づくり計画及び東逗子駅前再開発の資料を各自治会、町内会で回覧等実施し、意見を集約する。
- (2)住環境形成計画について
・住環境形成計画案の各町内会、自治会、団体内での紹介、情報提供を実施し、意見を募る。
・また、必用に応じて、お出かけ円卓フォーラムを依頼する。

3. 会長挨拶〔曾志会長〕

- ・こんにちは。雨が降り肌寒かったのが、午後から日が照り急に暑くなったりして、天候が不順ですが、体調に気を付けながら、今日の協議会を進めたいと思います。宜しくお願いします。

4. 議題

4.1 協議会活動(選択事業)

- (1)主要道路渋滞緩和の取り組み〔代理 工藤副会長〕
 - ・バナーフラッグの設置に向けて商業会さんのポール32カ所に付き、全部測量が終了しました。そこで、神奈川県横須賀土木事務所の方に書類を一旦提出して、不備な点を直しました。早ければ来週にも、神奈川県横須賀土木事務所にて再度書類の確認をお願いしたいと思います。
 - ・それが終わりましたら、逗子市市民協働課に書類を提出し、そちらからの方から神奈川県横須賀土木事務所に話をする形になります。さらに、ポールを使用しても良いですよという署名を商業会の会長さんに頂き、それも提出書類に付けることになります。今のところ、順調に進んでおります。
 - ・バナーフラッグの再見積は2ヶ所からとり、安い方で対応します。また、進捗状況は代表者会議で報告致します。
- (2)崖崩れ注意個所対策について〔磯部事務局長〕
 - ・崖崩れ注意個所対策の5項目のうち、倒木に関して進展がありました。神武寺谷戸の神武寺ハイキングコース途中にある倒木に対し、市長から所有者に手紙を出して頂いたところ、所有者の方から伐採したいとの申し出がありました。そこで、都市整備課の方で幾つか伐採業者を紹介致しました。
- (3)東逗子駅前ロータリー美化・活用について〔工藤副会長〕
 - ・雨が多い日が続いており、水やり回数が減り、だいぶ助かっています。花もポツポツ枯れ始めてきている一方、芝生がだいぶ伸びてきており、時間のある時に手入れをしたいと思っています。
 - ・先日、桜山4丁目の長谷川さんから、駅前ロータリーに広島原爆ハマユウ^{注1}を植えたいとの話が有りました。これは、鎌倉の方が以前広島で植えたハマユウが、原爆の熱火に耐え咲いていたことに感動し、それを株分けし、持ち帰り、各地に提供しているものです。この件については、役員会、協議会に諮ると共に、駅前ロータリーの所有者はJRであることから、東逗子駅の駅長に話をしてみます。また、どこに植えるかの検討も必要です。このハマユウは毎年8月頃に咲きますが、それ以外はただの緑の葉だけの植物で、駅前ロータリーでの植える場所も検討します。ハマユウを植えることで、その団体での管理、手入れ等も期待できることもあり、進めたいと思います。

また進捗状況について、報告致します。

(4) 沼間小学校通学路の児童見守り活動について〔東逗子子供会連合会 曾志光子氏〕

・9月28日に沼間小学校校外委員会が開催される予定で、こちらからの話は既にしており、それに対する保護者の意見の纏めを校外委員会さんから頂くことになっています。

(5) JR東逗子駅前再開発計画策定への参画〔武藤氏〕

・東逗子駅前再開発については、先月の代表者会議で市長からかなり詳しい状況説明がありました。前回ご出席頂いていない方は、本日配布の議事録にかなり詳細に記載されてますので、後ほどご参照願います。

市長の方から、できれば年内にも叩き台を固めたいとのことでしたので、できるだけ早く情報をつかまえて、案がかっちり固まってしまふ前の柔らかい段階で、意見が言えるようにしていきたいと思っています。

・そこで、市のご担当の村松さんの配慮で、企画課担当と近々会う機会を頂きました。次回には、状況を報告致します。また、併せて各町内会、自治会の中でご意見、ご要望を取り纏めて頂き、お聞かせ願いたいと思います。

【Q&A】

Q1:ゴジラのように放射能は無いでしょうが、原爆ハマユウは、普通のハマユウと何か違うのですか？

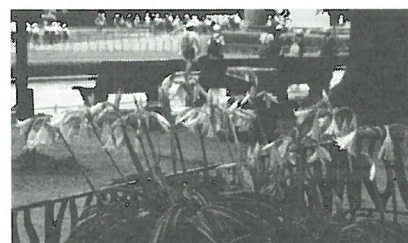
〔神武寺谷戸町内会 矢田氏〕

A1:見た目はユリの花のようで、普通のハマユウです。原爆の2000℃の熱に耐えたハマユウを株分けし、各地に植えています。この近くでは横須賀にも植えています。駅前ロータリーの植えた近くに、由来に関する説明書は付けるつもりです〔工藤副会長〕。

【注1:原爆ハマユウ Web引用】

平和記念公園内には、爆心地から2200mで被爆したインドハマユウの株が1969年(昭和44年)に鎌倉より移植されています。

このインドハマユウは南区南段原町(広島女子商業高校当時は、陸軍船舶砲兵団衛生教育隊が駐屯)で被爆しましたが、被爆から1か月後に球根から芽が出ているのを元日本陸軍の兵士が見つけ、自宅の鎌倉に持ち帰って育てていました。



4.2 協議会運営

(1) 地域づくり計画〔機部事務局長〕:別紙資料

- ・毎回説明していますが、住民自治協議会は地域づくり計画に基づいて活動するという、大基本方針の元に、運営しています。まだ、地域づくり計画全体として総会の承認は得ておりません。一応文書としては、地域づくり計画はできています。現在、できるだけ多くの住民の方に知って頂くということで、前々回から地域づくり計画を細切れにして、皆様に資料をお渡ししております。
- ・地域づくり計画は、1)活気のあるまち、2)互いに気遣うまち、3)子育てに適したまち、4)安全・安心なまち、5)豊かな自然と住環境を大切にすまち、こういったまちを目指して協議会活動を進めていきます。
- ・今回は第1項の活気のあるまちについてお配りしましたが、今回は、第2項の互いに気遣うまち、第3項の子育てに適したまちについてお配りしています。
- ・互いに気遣うまちづくりについては、高橋徹さんが担当です。子育てに適したまちについては、沼間小学校区子ども円食堂、沼間小学校通学路の児童見守り、子ども会振興、沼間中学校生徒の社会貢献活動推進の4つの項目があります。詳細は、後ほど資料をお読みください。
- ・最後のページに、地域づくり計画の事業一覧を載せており、○印のものは既に活動を開始しているものです。本日、武藤さんから初めて発表がありましたJR東逗子駅前用地活用事業計画策定への参画については、次回からは○に致します。
- ・本日お配り致しましたこの地域づくり計画の資料は、お手数ですが必用部数コピーを取って頂き、各自治会、町内会で必ず回覧をお願い致します。また、当資料に関する住民の皆様のご意見や追加提案は歓迎致しますので、代表者の皆様が受け取りこちらにお渡し願います。

(2) 運営組織整備〔機部事務局長〕

- ・今後、当連合会として地域づくり計画の具体的施策を進めていきますが、多岐にわたるために、運営組織の整備が必用となります。現在、役員会にて運営組織案について検討を進め始めていますが、なかなか難しく、案が纏まった時点で、再度お話をさせていただきます。

(3) 会則改定〔機部事務局長〕

- ・運営組織の整備及びその活動展開に際しては、当連合会の会則についても、追加、変更等の改定が必要になります。来年の総会にて改定すべく、この代表者会議に検討状況を報告していきたいと思っております。

4. 3 逗子市審議会・懇話会等の報告

- ・逗子市の各審議会、懇話会については、開催が無く、本日の報告は有りません〔機部事務局長〕

5. 地域の団体活動について

5. 1 自治会、町内会、管理組合からの報告

- ・今月から各自治会、町内会から課題とその取組状況等を話して頂き、参考にして貰いたいと思います。トップバッターとして、萩が丘自治会にお願いしました。

(1) 萩が丘自治会から〔萩が丘自治会 小澤氏〕

- ・今日は、「民泊」とその課題対応を中心にお話致します。
当萩が丘自治会は東逗子裏の坂を上った先、昔の大洋漁業の官舎の在ったかなり上のところにあり、その裏は神武寺ハイキングコースとなっています。
- ・当自治会の中で坂のカーブ付近の家が業者に売却され、そのゴミ捨ての件でかなり揉めました。経緯は、ごみ出し日が守られない、ごみが散らかり汚らしいということで最初は近所で問題になりました。自治会がその所有者と話をすることになりましたが、自治会には入りたくないが、自治会が設置したゴミバスケットは使用したいとのことでした。そこで、自治会として市役所に問い合わせたら、逗子市民でなくてもごみを捨てられるとのことで揉めていました。
- ・そうこうする内に、民泊を開始しますとの連絡が近所の5軒に入り、そこから大きな問題になりました。自治会を巻き込んだ折衝をしてましたが、途中から営業妨害ではないかということで揉めました。
- ・一方、その前に自治会として、場所がハイキングコースに当たることもあり、物騒なことから防犯カメラの設置を検討検討していましたが、補助金が廃止され、多額の負担がかかるとのことで、自治会としてはあきらめることになりました。
- ・そこで話し合いの結果、業者の方で防犯カメラを玄関先に設置する代わりに、ごみ捨て日を守り綺麗に使うとの約束の基ゴミバスケットの使用を認めることに致しました。
- ・この件は、新民泊法に縛られない「ウーフ」^{注2}をしないとの話もあり、まだ問題は解決してません。

【注2:ウーフ(WWOOF)とは Web引用】

1971年イギリスで芽生え、オーストラリア、ニュージーランドで発展しました。現在は、世界60か国以上でWWOOF事務局が設置されています。各国にその国のWWOOFを運営するWWOOF事務局が1か所あります。

日本では、1994年に誕生。2002年からはインターネットを使いWWOOFジャパンとして本格的に活動しています。

Working Weekends On Organic Farms (有機農場での週末作業)というように、週末だけ農家に行って手伝うことから始まったWWOOF(ウーフ)。その後、週末に限らず、広がりを見せるようになり、頭文字はそのまま、Willing Workers On Organic Farms (有機農場で働きたい人たち)へと移り変わりました。現在では、WWOOFの活動は世界中に広がっており、一般的には、World Wide Opportunities on Organic Farms (世界に広がる有機農場での機会)に変わっています。しかしながら、WWOOF(ウーフ)は、もうWWOOF(ウーフ)であって、どこの国でもWWOOFと呼ばれています。

【逗子市村松氏から】

- ・民泊営業の届出は、法律上、神奈川県鎌倉保健福祉事務所に出すことになっています。また、民泊に関する逗子市の窓口は、国の方針から経済観光課がなっていますが、実際のゴミ、環境問題の管轄は環境都市部となり、ゴミステーションの相談や仲介は致します。また、旅館業法との関係で消防本部の方が検査や安全確認等を行うこととなります。神奈川県のホームページで、今調べたところ沼間2-6-18にミレスタレスという名前で申請が出されています。

【参考】 神奈川県ホームページ住宅宿泊事業施設一覧: http://www.pref.kanagawa.jp/docs/e8z/cnt/f762/documents/0831_minpaku.pdf
(株)ミレスタレス: <http://www.milestales.org/bbi/index.html>

【工藤副会長から】

・昨日、逗子市の方から防犯カメラ設置の際の補助金が復活したとの連絡が入りました。神奈川県が復活したことから、逗子市の補助金も復活することです。但し、来年度の予算になることから、10月末迄の選考となります。時間がないので、早急な対応が必要です。

【Q&A】

Q1: 民泊の場合管理者はどうなっているのですか？問題発生時、連絡するのはどうするのですか？

〔逗子桜山ハイツ自治会 望月氏〕

A1: 民泊営業する上で管理業者を置く必要があるようで、例えばセコムのような管理業者を入れるようです。

問題発生時は、その管理業者にすることになります。

但し、火事とかの緊急時は、まずは119番通報になります〔小澤氏〕。

Q2: 民泊の場合所有者はホストということで、一緒に宿泊しなくても良いのですか？〔神武寺谷戸町内会 矢田氏〕

A2: 居たり居なかったりで、一緒に宿泊する必要は無いようです〔小澤氏〕。

5. 2関係団体からの報告

(1) 沼間体育会〔沼間体育会 深澤氏〕

- ・先月PRして頂きましたように、10月7日(日)に、沼間小学校にて地域の体育祭を開催致します。
- 参加自由ですので、多くの景品をもっていき頂きたいと思ひます。多くの方のご参加をお願い致します。

(2) ズシッパ〔ズシッパ 小池氏〕

- ・9月25日にズシッパ沼間地区連合会として、敬老祝賀会を行います。60数名集まる予定です。

(3) 東逗子子ども会連合会〔東逗子子ども会連合会 曾志光子氏〕

- ・10月7日(日)に東逗子体育祭に子ども会から参加させて頂きます。

(4) 結生(ゆい)〔結生(ゆい) 矢部氏〕

- ・高齢者のためのふれあいホームを4月から開催しています。場所は福祉会館そばですので、近くにお越しの方は、是非覗いてみて頂きたいと思ひます。

(5) 東逗子商栄会〔東逗子商栄会 森谷氏〕

- ・月例の朝市を10月7日(日)に開催致します。朝市で買い物をして、その後に地区運動会に参加してください。
- ・11月は、4日(日)に朝市を開催します。是非、各自自治会・町内会で回覧願ひます。こちらにも、またご参加ください。

(6) ずし子ども0円食堂〔代 曾志会長〕

- ・9月5日(水)16時から開催し、参加数は64名(大人28名、子ども36名)で、カレーライス、パスタサラダ、フルーツポンチ、きゅうり漬け、アカモクと人参のラペ他を提供し、好評でお代わりも沢山していました。
- ・また、関東学院大学から3名のボランティアが来て頂き、子供たちと積極的に関わって遊んで頂きました。
- ・三浦半島労働福祉協議会様から30,000円の寄付金、(株)グローバル・ニュークリア・フェル・ジャパン様から災害用パン缶をご提供頂きました。
- ・子供たちは、風船遊びを楽しんだり、積極的に調理のお手伝いをしたり、笑顔いっぱいの時間でした。
- ・次回は10月3日(水)16:00~18:00に開催の予定です。

(9) ホタルの里の会〔ホタルの里の会 松本氏〕

- ・11月4日(日)に田越川の清掃を実施します。ご協力をお願い致します。

(1) 沼間小学校〔沼間小学校 小島氏〕

(1) 沼間小学校〔沼間小学校 小島氏〕

- (2)沼間中学校〔沼間中学校 関氏〕

- (3)社会福祉協議会〔社会福祉協議会 三冨氏〕別紙資料

- (4)エコ広場ずし〔エコ広場ずし 吉永氏〕

- ## 6. 地域の情報共有

6.1 行政からのお知らせ

(1) イベントの紹介 [逗子市 村松地域担当職員]別紙

- ## (2) 防犯カメラの補助金の件

- 自活会・町内会以外で

(3)住環境形成計画の策定について:これからの住環境を考える[まちづくり景観課 須田氏、三澤氏]

(a)目的

- ・前回、少し予告させて頂きましたが、今回が本番の説明となります。
- いままで、逗子市では住環境をどうしていくかとの計画はなかったのですが、市内の地域を特色に合わせて、住環境をどのように作っていくかの方針を纏めていくということで、「住環境形成計画」というものを作成しようとしています。例えば、先程話しのあった沼間小学校区の地域づくり計画の中にも豊かな自然と住環境を大切にするまちという項目がありますように、各地域づくり計画にも重要な内容となっています。
- ・この9月までに、各小学校区の住民自治協議会にお邪魔し、意見交換をさせて頂いており、今回が最後となります。これから、概要についてなるべく分かり易く説明し、意見交換をさせて頂きたいと思います。
- 今後、計画を固める前に、住民皆様の声をできるだけ組み入れていきたいと思いますので、この後色々なご意見を頂きたいと思います。また、アンケートの記入も併せてお願い致します。

(b)住環境形成計画の概要説明(PPT資料)

- ①住環境形成計画とは:安全、安心、快適な暮らし実現のための住まいの配置計画
- ②逗子市の人口構成:県平均値に対して 20、30 代が少ない一方、高齢者が多い
- ③逗子市の人口動態:逗子市は、人口増加策を進めているが、2040 年に向けて、全体人口が減少。構成は老年層が増加するが、それ以上に生産年齢層、年少人口層が減少する。
- ④住宅ストックの状況:逗子市は、県平均や他市に比べ、持ち家率及び一戸建て率が高いのが特徴。
- ⑤住まい方の状況
 - ・逗子市は、県平均や他市に比べ、一戸建て率が高いのが特徴。
 - ・逗子市は、県平均に比べ、高齢夫婦世帯、親と子供世帯、一人親と子供世帯率が多いのが特徴。
- ⑥住環境の特性と課題
 - ・人口維持対策、・生産年齢層の流入増加対策、・ライフステージに応じた住替えの支援
 - ・賃貸も含め多様な住宅供給、・歴史的な景観保持
- ⑦住環境の形成計画の方針(案)
 - ・住環境を分析し、地域性を踏まえたゾーンに分ける。
 - ・新たな魅力を創出し、それらを融合させた目指すべき住環境の方向性を示す。
 - ・まちづくり条例を始め関連条例の改正及び良好な住環境形成に繋がる施策に取り組む。
- ⑧方針のイメージ:住環境形成は、戦略をもって取り組む。
- ⑨地域特性の検証
 - ・逗子市の地形:三方山地に囲まれ、西側は海。広い斜面緑地、数カ所の丘陵地、多数の谷戸、狭い平地。
 - ・過去に開発された大規模住宅団地:建築協定、地区目的等設定。
 - ・住宅地の特性:平地の既成市街地、S40 年代以降の住宅団地、谷戸に形成された住宅地、リゾート・別荘地。
 - ・交通:JR、京急線の駅、駅周辺 500m を補完するバス網、バス停 200m 以遠の地区。
 - ・用途地域:市街化区域は概ね住居系用途地域指定。
 - ・景観条例(三つに分類、重点地区指定)及びまちづくり条例(用途地域ごとの基準、一部地域の基準)。
- ⑩エリア区分(案)
 - ・4 つのゾーン区分:商住(にぎわい)、海浜(おもむき)、近郊(まちなか)、郊外(うるおい)。
- ⑪策定までの目標スケジュール
 - ・市民の意見抽出→原案作成→まちづくり審議会→説明会・パブリックコメント→計画策定→条例改正・施策実施。

【Q&A】

Q1:本日配布されたアンケートは、どのような形で回収するのですか?各町内会、自治会内で配布し、収集するのですか? [マイキャッスル三番館 石田氏]

A1:本日配布したアンケート用紙は、この場に出席頂いた代表者の方々に、この後、記入頂きご提出願います。各自治会、町内会内での住民全員の方のアンケートは、非常に大変なご負担をお掛けしますので、今は考えておりません。この後、2月頃になると思いますが、計画の素案ができたところで、パブリックコメントという形で、市民の皆様からのご意見を頂きたいと思います。

もし、ご協力頂けるようでしたら、アンケートボックスを各小学校区コミュニティセンターに設置してあります。この沼間小学校区コミュニティセンター1階にもアンケート用紙及び回収箱を用意してありますので、各自治会、町内

会にて、ご紹介頂けましたら幸いです。

さらに住環境形成計画案の内容^(注3)及びアンケート用紙も市のホームページに掲載しておりますので、ご紹介、ご活用願えれば大変有難いです。

【注3:参考資料】逗子市役所ホームページから

・計画素案:これからの住環境を考える(住環境形成計画の策定にむけて) : <http://www.city.zushikanagawa.jp/syokan/machi/jyuuankyo.html>

・プレゼン資料:まちづくりワークショップ「これからの住環境を考える」 : <http://www.city.zushikanagawa.jp/global-image/units/160386/1-20180329132238.pdf>

Q2:今日の住環境形成計画は、各小学校区で住民の話を聞いた上で計画案を固め、パブリックコメントを実施し計画を固めるとなると思いますが、その進め方には個人的には大反対します。都市計画の専門家の話に逆らう様で、申し訳ないですが、住民は実際のところ、もっと保守的です。

市はもっと電気、ガス、下水等の基礎的ライフライン整備を優先して取り組むべきです。景観とか欧州の有名な観光地ならともかく、もっと先にやるべきことが残っていると思います。

また、集合住宅、一戸建て間で住宅還流しようとの話がありましたが、上手くいくとは思えません。

今の説明では否定的に捉えているようでしたが、逗子市で一戸建てが多いのは理由があり、誇るべきこと美徳だと思います。逗子市は住宅都市であり、多数の住民が都心に通う「神奈川都民」といった人が多いところでは。

それらの人達は、一所懸命働き、退職し、高齢化しても、住替えたいとは思いません。出来れば死ぬ迄そこで暮らしたいと思っています。私の父も90歳過ぎですが、そう思ってますし、私もそうです。アーデンの人達もそうだと思います。よって、住宅還流とか高層住宅とか言っても、なかなかそうはなりません。

若い人達が一所懸命やっていることに、水を差しやる気を無くしては申し訳ありませんが、そのように思っている人が多いということは、理解して頂きたい[神武寺谷戸町内会 矢田氏]。

A2:貴重なご意見を、有難うございます。

Q3:逗子市は空家が増えるとの話ですが、その対策はどうなっていますか？[逗子桜山ハイツ 望月氏]

A3:横須賀市では検討が進んでいるのですが、逗子市は後手に回っており、どうするか検討中です。今後、進んでいる所を参考に、取り組んでいきたいと思います。

Q4:2つあります。第1は、今日は代表者の私が話を聞きましたが、このような問題は自治会全体として検討すべきであり、別途説明の機会を持って欲しいと思います。

第2は、本日の分析内容は、個人的には矛盾点も感じますが、学術的な専門家も入って分析したものでしょうか？
[アーデンヒル自治会 手塚氏]

A4:ある程度の人数が集まって頂ければ、市から出向いて説明し、意見交換する「お出かけ円卓フォーラム」という活動を実施致します。ご連絡頂ければ、調整させて頂きます。

二つ目の分析を専門家がしたかどうかは、今は市役所内部での検討になってます。昔は外部コンサルタントにお願いをしていましたが、予算が無くなり現在はしておりません。但し、まちづくり審議会の中には専門家もいらっしゃることから、その方のご意見は戴いております。

Q5:今日の住環境形成計画は建物を中心としたお話でしたが、社会インフラや交通システム等の検討はしないのでしょうか？[荻が丘自治会 小澤氏]

A5:今日お話し致した住環境形成計画では、建物に関してです。社会インフラや交通系はまた別の計画となります。

・東逗子の将来のためにも、変化と進化は重要です。よく議論して良い方向にもっていきたいと思います[曾志会長]

6. 議員からの情報

・本日は田幡議員にお願いします(磯部事務局長)。

《田幡議員から》

(1) 総合的病院誘致について

・改めまして、皆様こんにちは。

前回の代表者会議にて、市長から話が有った総合的病院誘致の件ですが、横須賀三浦二次医療圏で22床不足で再配分が行われるとの話でしたが、今回再配分が無いことが決定しました。よって、葵会の病床認可は109床のままとなっています。次の配分は平成32年3月頃ということで、開院計画も更に延びる可能性が出て来ています。今のままでは、平成34年に開院とのことですが、このような状況では更に延びること考えられます。

このように、病院問題は、様々な角度で、暗礁に乗り上げている状況になっています。

(2) バス導入について

・病院建設の問題と絡め、バス導入に向けて、ここの沼間住民協議会の方とアーデンヒル自治会の方が京急バスとお話し合いをされたと同っております。病院の委員会が有ったときに、その件について、議員から質問が有りましたが、逗子市としてはまだまだ自分たちで動く気は無いとの返答でした。病院が動くかどうかという中で、京急バスとしても、判断する事は難しいと思います。

・この件は地域の重要な問題であり、私としては病院と切り離してでも、是非動かしたいと思っています。住民協議会の皆様とも足並みを揃えて、実現に向けて一層努力をしていきたいと考えています。

(3) 救急搬送先について

・総合的病院の件で、逗子市からの救急搬送に平均 43 分かかっているとの話が有りましたが、良い情報が入りました。葉山のハートセンターが、4 月から救急医を置き、ER型での救急搬送を受け入れ始めました。

・この対応により、葉山ハートセンターには搬送時間が 10 分程度で近いこともあり、搬送率が 29 年度は 2.6%だったものが、30 年度 8 月には 14.5%と増加しています。葉山ハートセンターでは、救急は 24 時間受け入れると共に、心臓関連の救急については、3 次救急の所まで対応するとのこと。

皆様の心配が、少し減った状況になってきていると思います。

7. その他〔出席者からの情報、意見、要望〕

(1) 挙動不審者の出沒〔工藤副会長〕

・9 月 12 日に、逗葉高校への通学路に、朝から午後にかけて、いったりきったりする挙動不審者が出沒し、逗子警察署に通報致しました。女子高生の帰宅を狙ったものと思われます。

幸い事件発生には至りませんでした。十分気を付けて頂きたいと思います。

8. 連絡事項

(1) 第6回代表者会議 10 月 27 日(土) 15:00~17:00 沼間小学校区コミュニティセンター

(2) 次回役員会 10 月 19 日(金) 19:00~ 県営桜山ハイツ集会所

以上